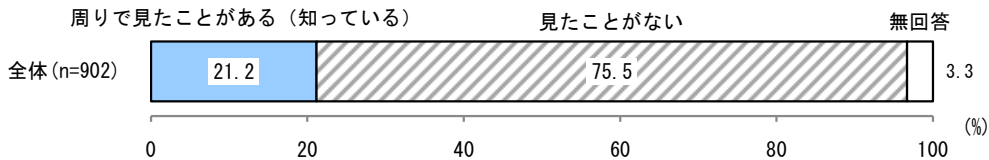


5. 困難な問題を抱える女性の支援について

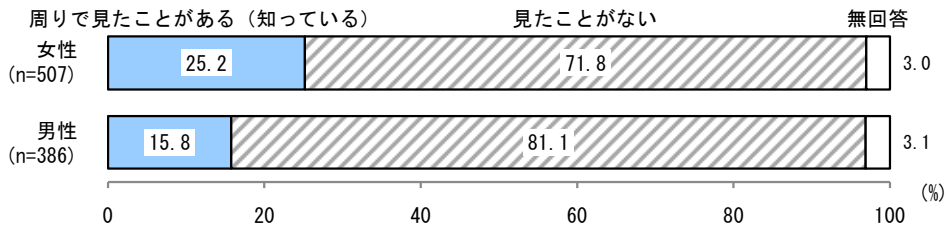
問27 困難な問題を抱えている女性について見たり聞いたりした経験の有無について

問27 令和6年4月1日から「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されます。あなたの周りで困難な問題を抱えている女性を見たり聞いたりしたことがありますか。(〇は1つ)

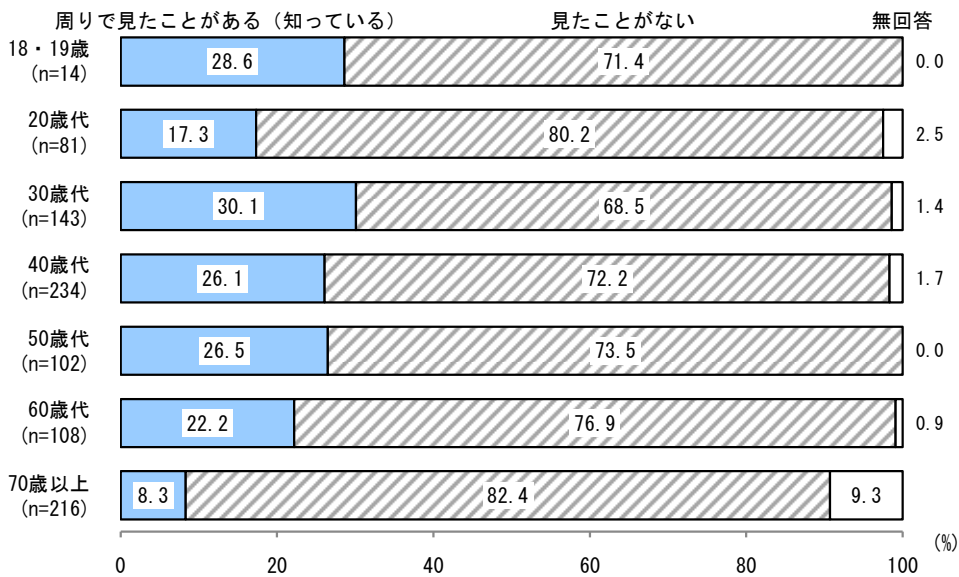
・困難な問題を抱えている女性については、「見たことがない」が75.5%、「周りで見たことがある(知っている)」が21.2%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「周りで見たことがある(知っている)」の割合が9.4ポイント高くなっています。一方で、男性は女性よりも「見たことがない」の割合が9.3ポイント高くなっています。



・年代別にみると、18・19歳、30～60歳代で「周りで見たことがある(知っている)」の割合が20%を超えている一方で、20歳代と70歳以上では20%を下回っており、他の年代より低くなっています。

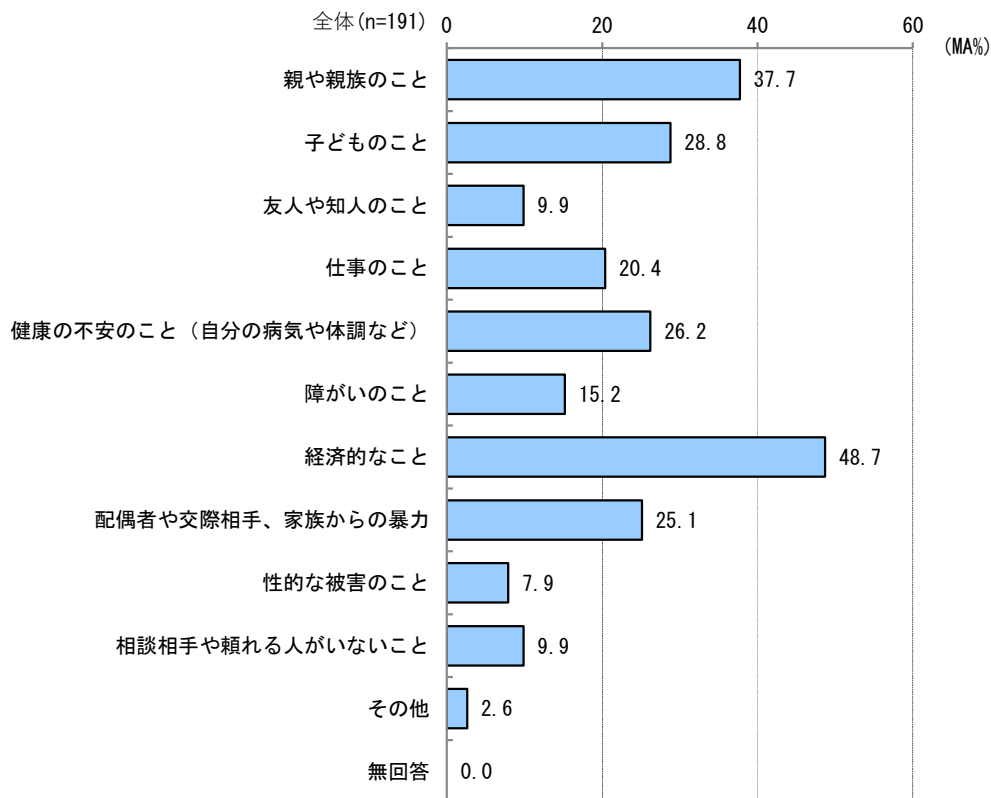


問27-1 どのような問題を抱えているのか

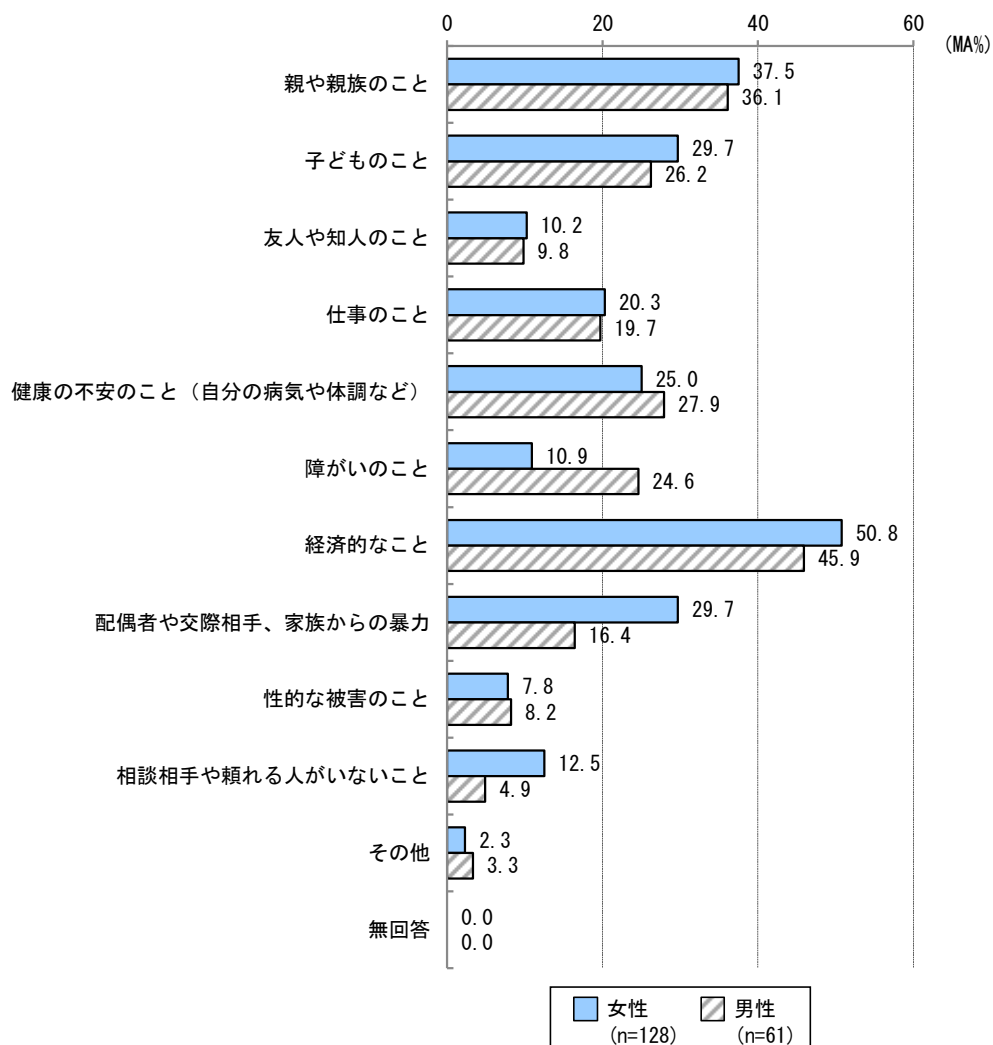
【問27で「1.周りで見たことがある(知っている)」と答えた人におたずねします。】

問27-1 周りの方はどのような問題を抱えていますか。(〇はいくつでも)

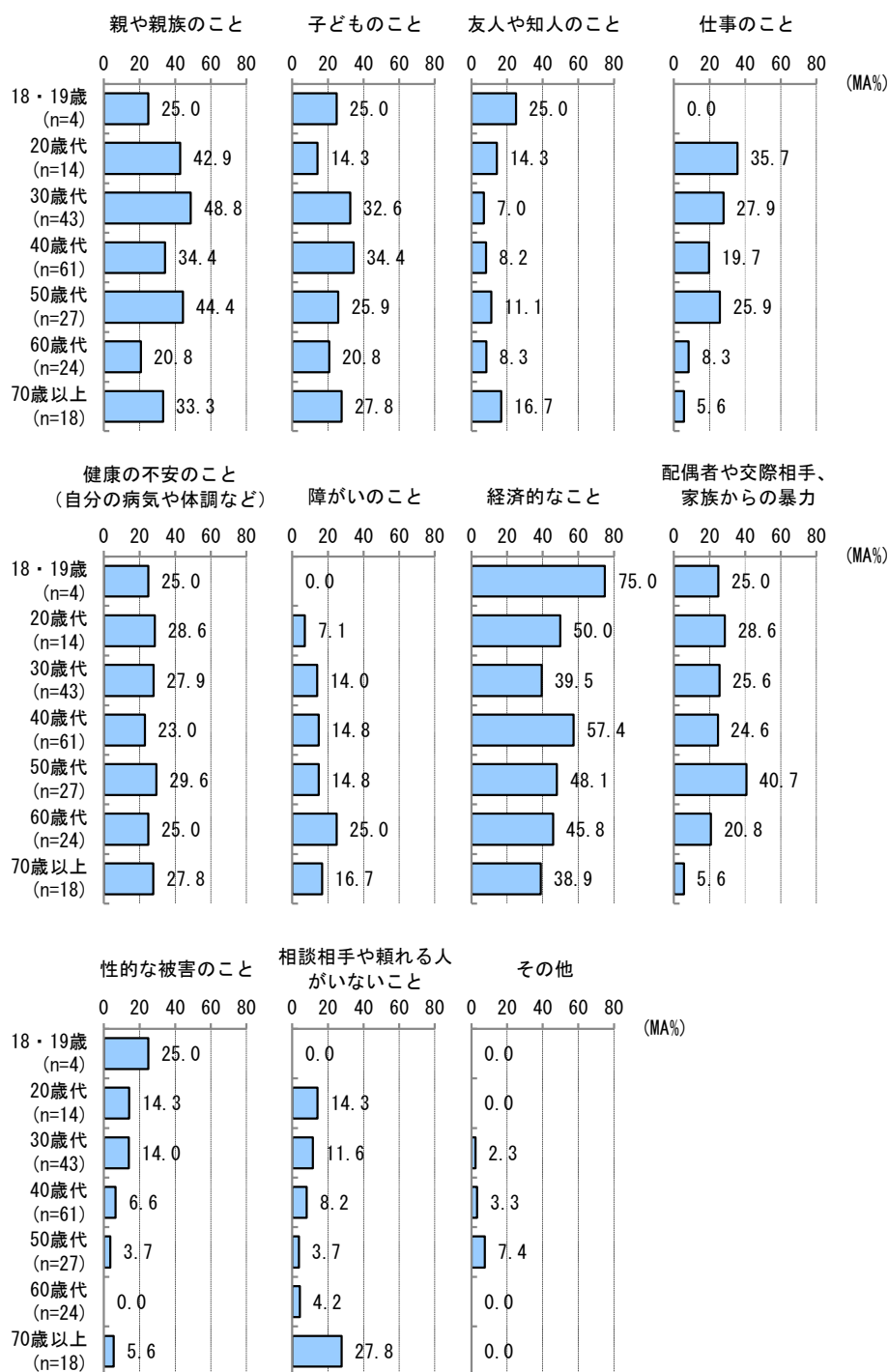
・どのような問題を抱えているのかについては、「経済的なこと」が48.7%と最も高く、次いで「親や親族のこと」が37.7%、「子どものこと」が28.8%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「配偶者や交際相手、家族からの暴力」の割合が13.3ポイント高く、男性は女性よりも「障がいのこと」の割合が13.7ポイント高くなっています。



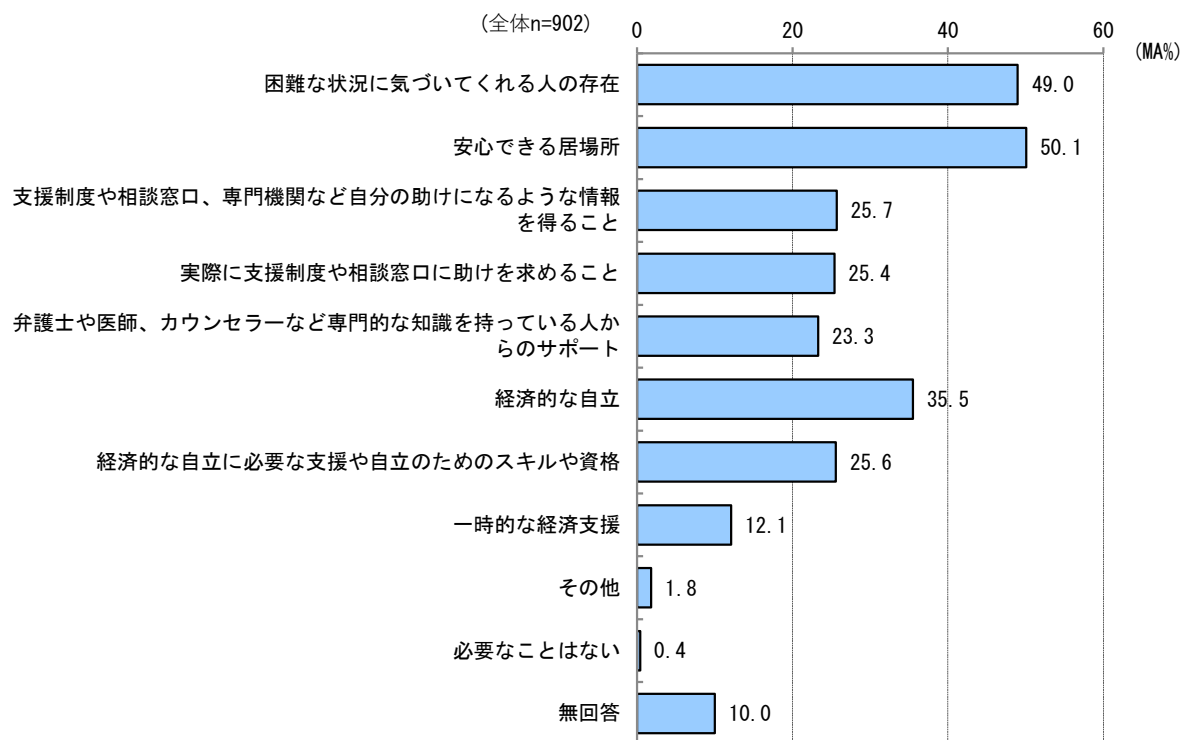
・年代別にみると、30～70歳以上で「経済的なこと」の割合が35%を超えており、40歳代で57.4%となっています。



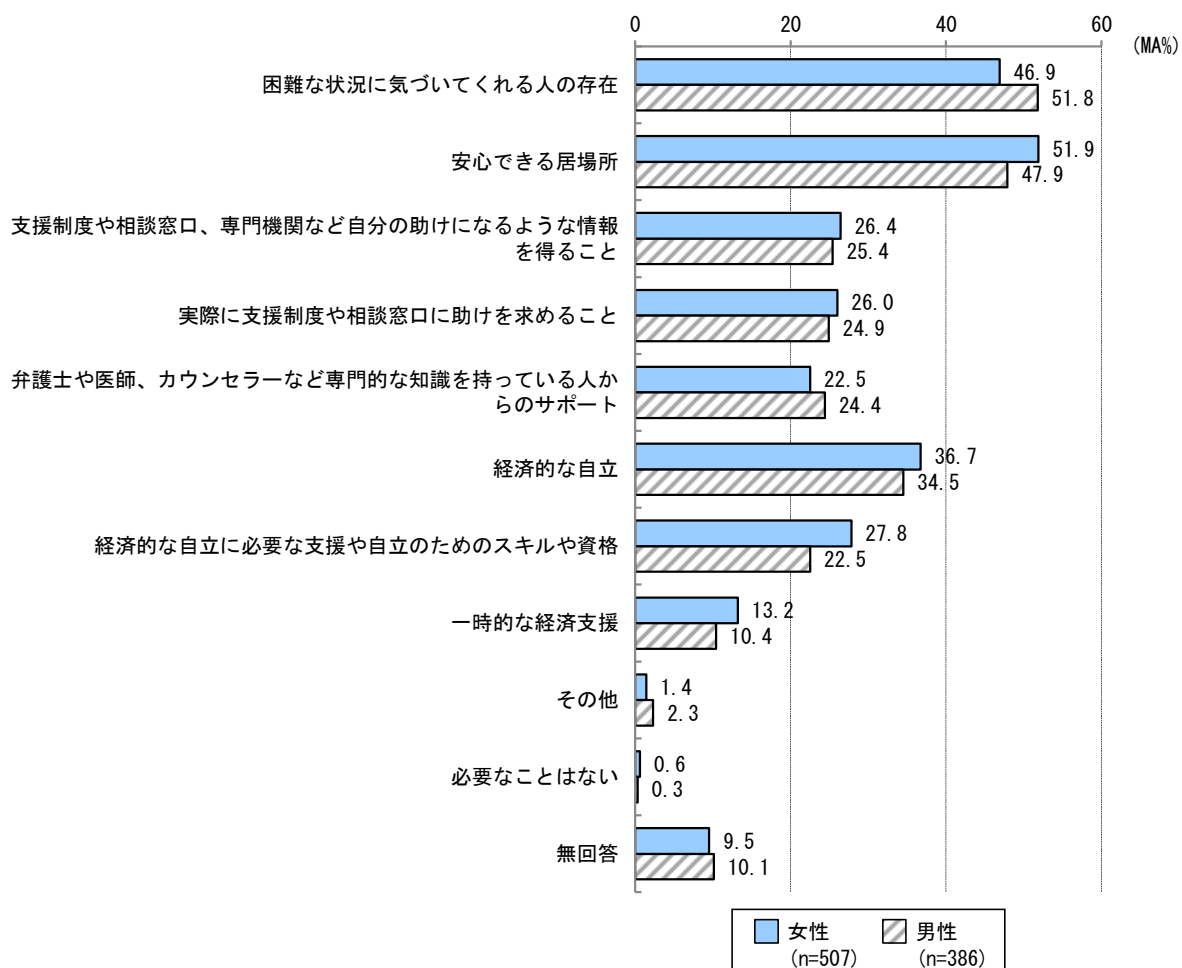
問28 女性が困難な状況から回復するために必要なこと

問28 女性が困難な状況から回復するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(特に必要だと思うものを3つまで○)

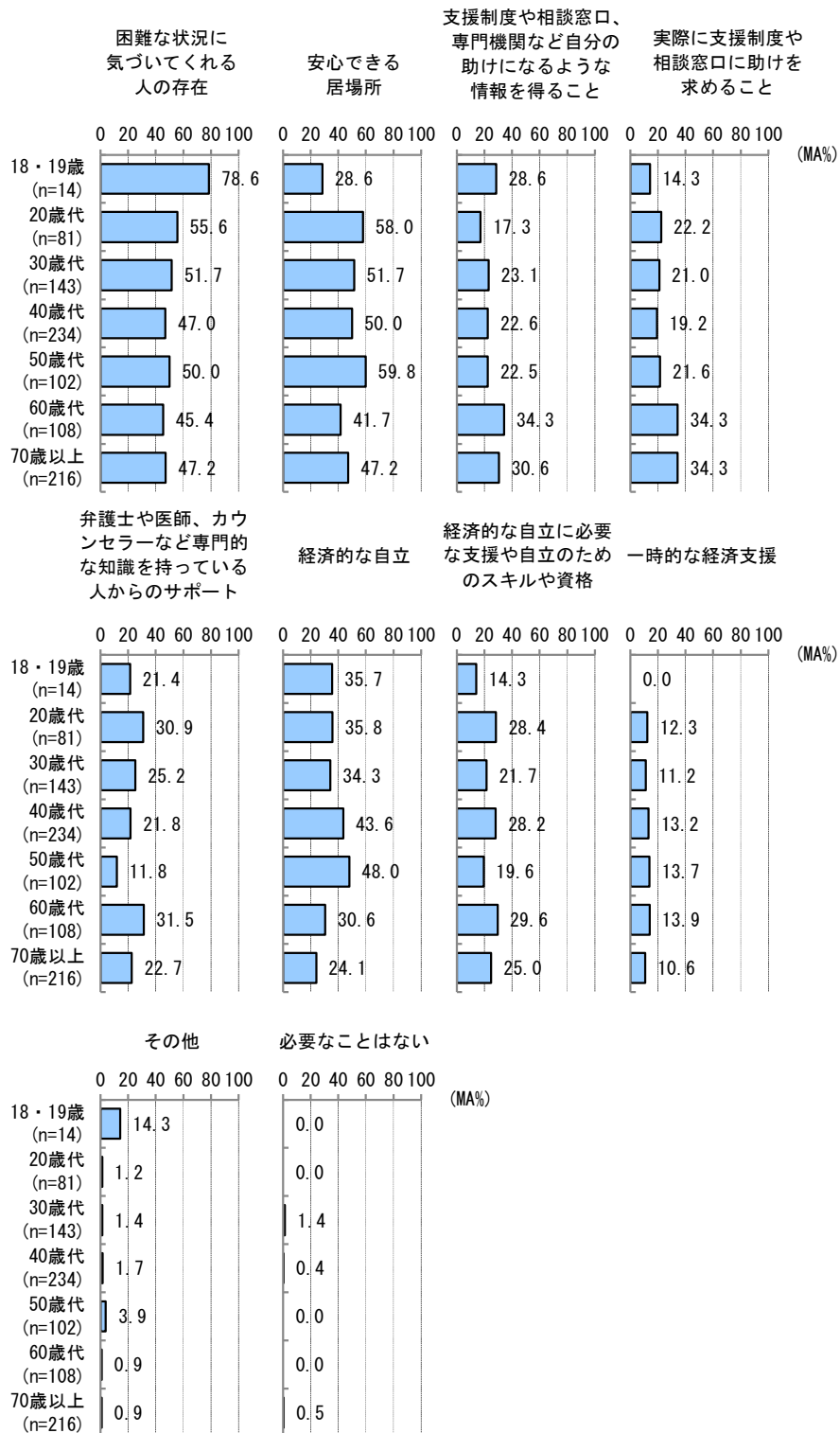
・女性が困難な状況から回復するために必要なことについては、「安心できる居場所」が50.1%と最も高く、次いで「困難な状況に気づいてくれる人の存在」が49.0%、「経済的な自立」が35.5%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「経済的な自立に必要な支援や自立のためのスキルや資格」の割合が5.3ポイント高くなっています。



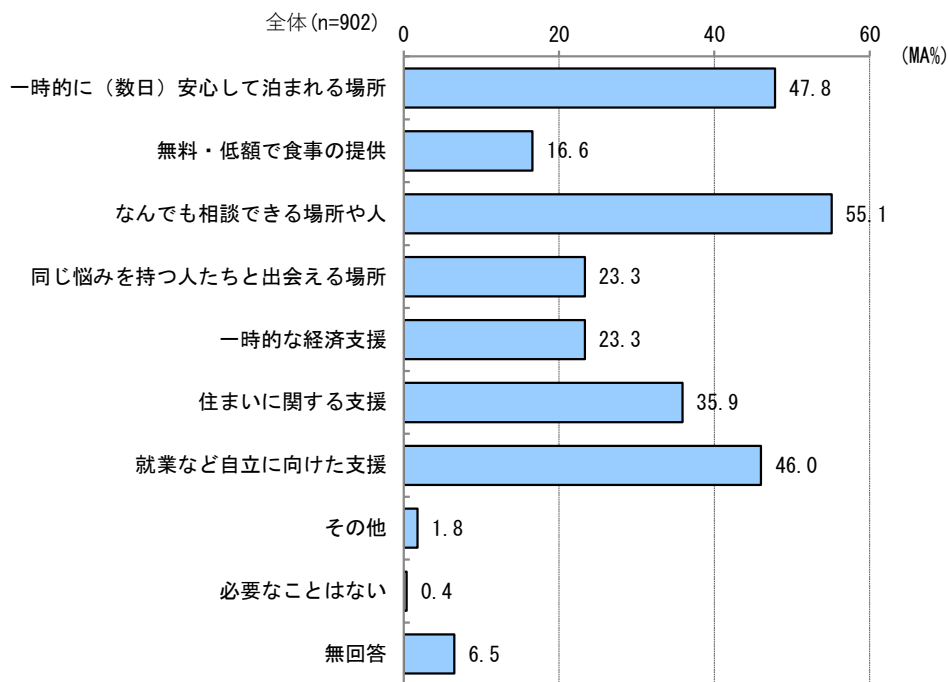
・年代別にみると、20歳以上で「困難な状況に気づいてくれる人の存在」の割合が45%を超えており、20歳代で55.6%と高くなっています。また、20歳以上で「安心できる居場所」の割合が40%を超えています。



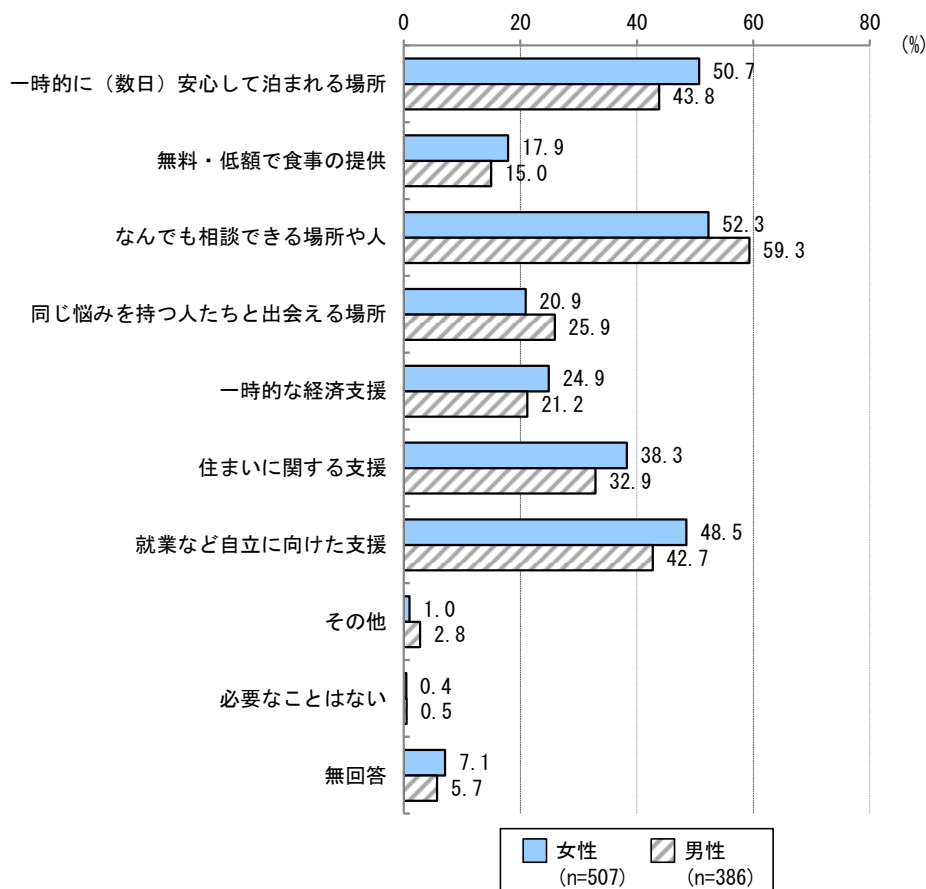
問29 家に居場所がない女性たちへのサポート

問29 DVや虐待、家族との不仲などで家に居場所がない女性たちにどのようなサポートがあるといいと思いますか。(特に必要だと思うものを3つまで○)

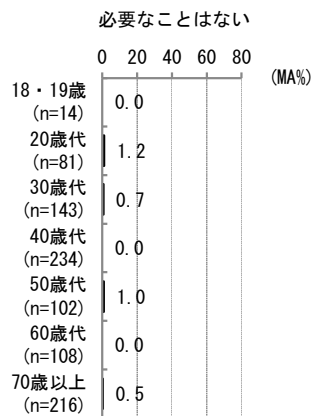
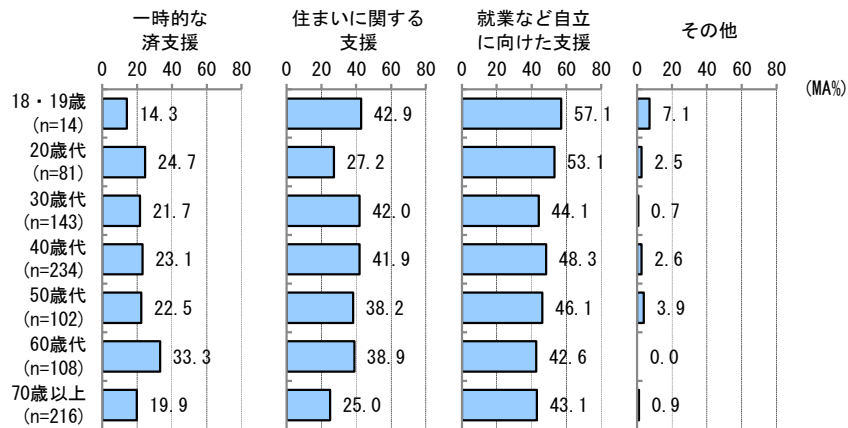
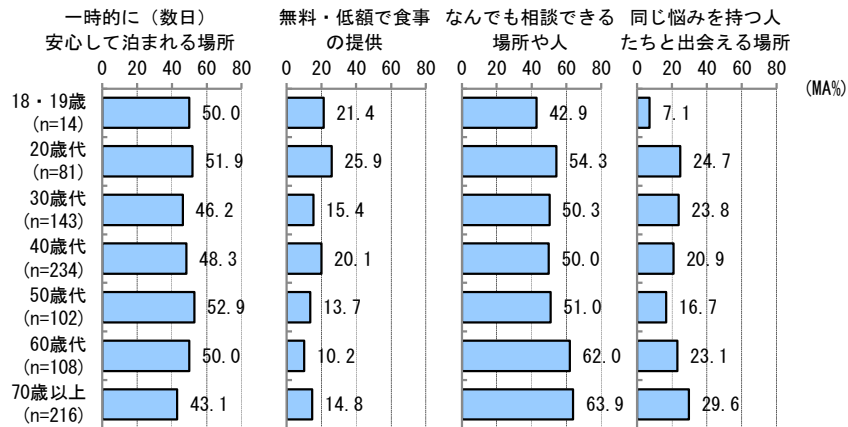
・家に居場所がない女性たちへのサポートについては、「なんでも相談できる場所や人」が55.1%と最も高く、次いで「一時的に(数日)安心して泊まれる場所」が47.8%、「就業など自立に向けた支援」が46.0%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「一時的に(数日)安心して泊まれる場所」の割合が6.9ポイント高く、男性は女性より「なんでも相談できる場所や人」の割合が7.0ポイント高くなっています。



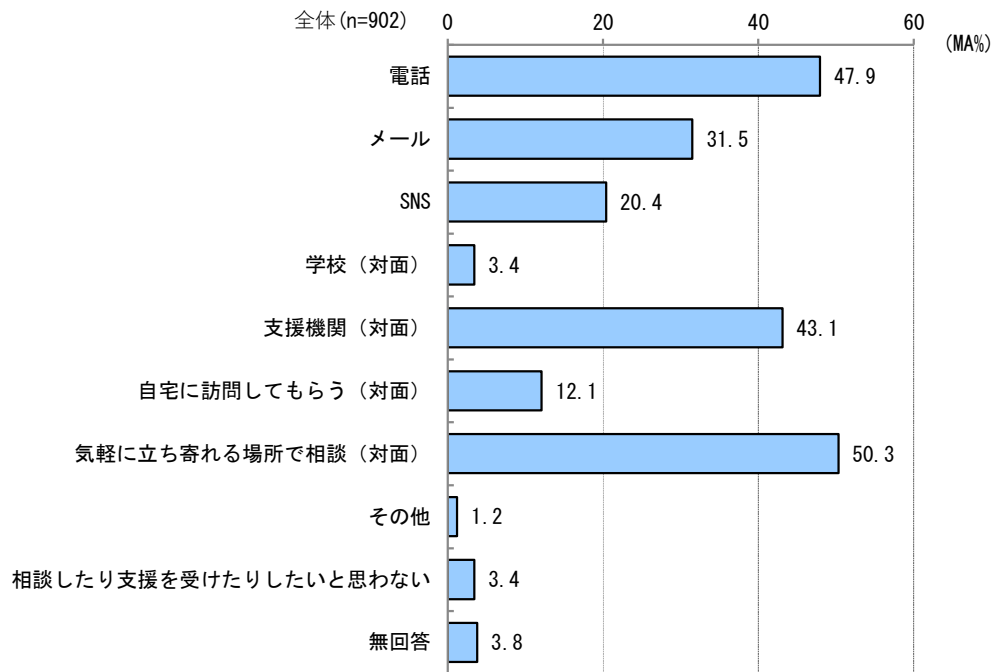
・年代別にみると、概ね年代が上がるほど「なんでも相談できる場所や人」の割合が高い傾向にあり、70歳以上で63.9%となっています。一方で、「就業など自立に向けた支援」の割合は概ね若い年代ほど高い傾向にあり、18・19歳で57.1%となっています。



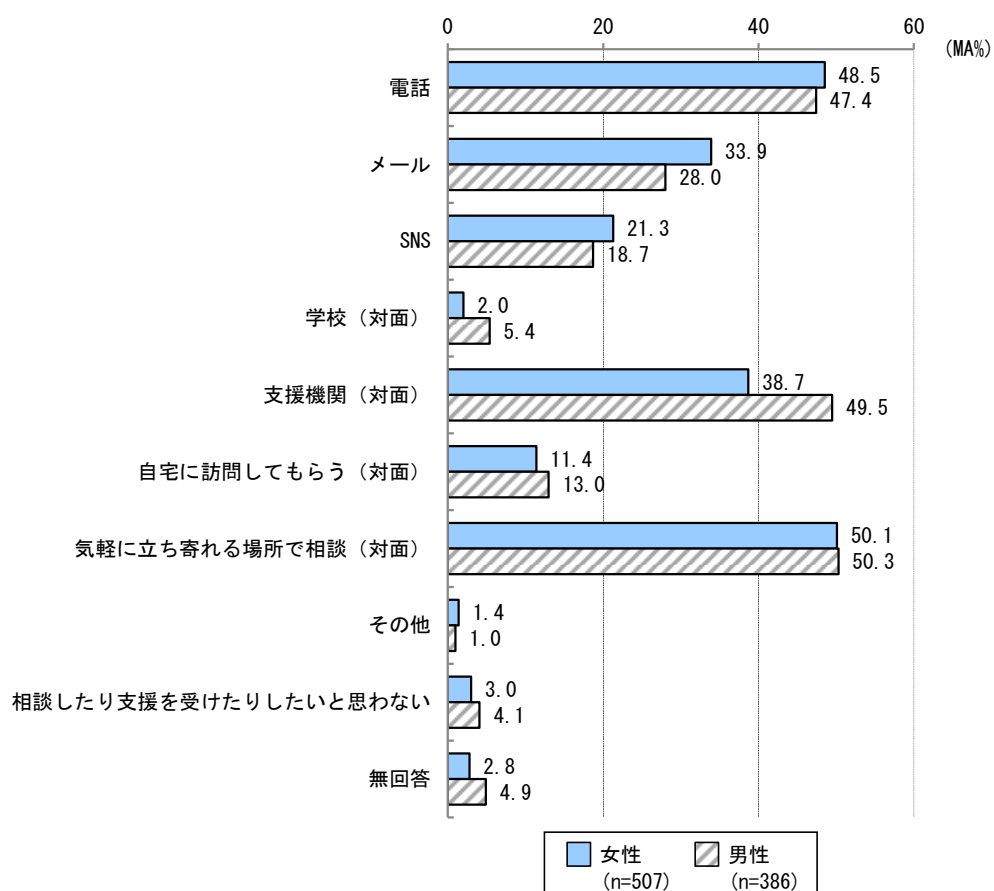
問30 相談するとしたらどのような方法や場所がいいか

問30 もし、あなたが相談するとしたら、どのような方法や場所でしたいですか。(〇はいくつでも)

・相談するとしたらどのような方法や場所がいいかについては、「気軽に立ち寄れる場所で相談(対面)」が50.3%と最も高く、次いで「電話」が47.9%、「支援機関(対面)」が43.1%となっています。



・性別にみると、女性は男性よりも「メール」の割合が5.9ポイント高く、男性は女性より「支援機関(対面)」の割合が10.8ポイント高くなっています。



・年代別にみると、概ね若い年代ほど「SNS」の割合が高い傾向にあり、18・19歳で78.6%となっています。また、全ての年代で「気軽に立ち寄れる場所で相談(対面)」の割合が40%を超えており、20歳代で56.8%となっています。

